



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

シリア：紛争をどう理解するか？中東情勢研究会（第3回）より

中東調査会は、中東に関係する研究・実業分野の有志、及び当会研究員からなる「中東情勢研究会」を設け、中東情勢についての分析を行うこととした。研究会の成果は、『中東研究』など当会の出版物などを通じて公開する予定である。このかわら版は、過日開催された研究会第3回会合の概要である。

開催日時：平成24年10月29日（月）18時～20時、於：中東調査会

報告者：青山弘之（東京外国語大学准教授）

報告題目：シリアの紛争をどう理解するか？

出席者：溝渕正季（日本学術振興会、東京外国語大学）、他9名。中東調査会：高岡豊

概要

* 青山より、現在のアラブ諸国の情勢について、「アラブの春」への通俗的理解である「独裁（悪）」対「民衆革命（正義）」という二項対立と、体制転換の結果として「民主化」が実現するという予定調和に基づく理解のあり方がほとんど全ての場合で破綻していると指摘した。特に、シリア情勢については「重層的な紛争」状態にあり、上記の二項対立、予定調和に基づいた情勢認識と対応は不可能となっていると述べた。具体的には、シリアへのサラフィー主義者外国人戦闘員の流入と、クルド民族主義勢力による第三極の形成という現象が、シリア情勢についての既存の認識に基づく対処を不可能にしている。そこで、青山は外国人戦闘員流入、クルド民族主義勢力による第三極形成の2つの現象の実態と、シリアの「重層的紛争」に対する我々の関与に内在する問題点、という二つについて考察・報告を行った。

* 報告によると、シリアでの紛争は以下の7つの層によって推移してきた。

第1層：市民の抗国家社会運動（2011年3月～4月）

第2層：民衆組織による抗国家社会運動（2011年4月～8月）

第3層：政治エリートによる体制転換運動（2011年6月～、2011年9月に本格化）

第4層：紛争の軍事化（2011年7月～、2011年9月に本格化）

第5層：欧米諸国、湾岸諸国、トルコによる体制転換運動（2011年4月～、2011年9月に本格化）

第6層：サラフィー主義者外国人戦闘員による破壊活動（2011年12月～、2012年7月に本格化）

第7層：クルド民族主義勢力による第三極形成（2012年3月～、2012年7月に本格化）

これらのうち第1、第2の層が通俗的な「アラブの春」の理解に合致するが、こうした運動は既に頓挫し、その結果生じた「革命の乗っ取り」によって紛争が変容・重層化した、というのが青山の見解である。

* サラフィー主義者による破壊活動と、クルド民族主義勢力による第三極形成は、シリア紛

争の対立構図を錯綜させた。前者は、紛争の争点を体制転換・民主化の是非から安定か混乱かの選択に移行させた。アサド政権は、安定回復を根拠にサラフィー主義者の根絶を目指している。これに対し、反体制武装闘争を支援する諸国はサラフィー主義者の活動を武装闘争の中でどのように位置づけるかで明確な回答を持たず、その結果これら諸国によるシリア紛争への関与は、曲がりなりにも「安定」回復を目指す唯一の当事者であるアサド政権の打倒を図り、混乱を助長しているだけ、という関与のあり方とも取れるようになった。クルド民族主義勢力については、彼らは本質的には親体制でも反体制でもない上、解体を含むシリア国家の抜本的な改変を目指しているという点で対立構図を錯綜させた。すなわち、クルド民族主義にとってはアサド政権打倒後の「民主的シリア」は想定しえず、前述の二項対立、予定調和に基づく情勢認識では彼らの存在に対応できないのである。

* 以上の報告の後、青山は「アサド政権崩壊は時間の問題」との（誤った）評価が我が国を含む外部からの関与の原動力であり、外部からの関与こそがシリアの紛争を重層化させる契機となったと指摘した。そして、紛争が重層化している現実にもかかわらず二項対立、予定調和に基づく理解に沿って関与を続けたことにより、結果的に、「我々」自身がサラフィー主義者テロリストを支援することになると共に、クルド民族主義勢力の台頭という対処不能な現実を出現させたと結論付けた。

* 質疑では、レバノンをはじめとする周辺諸国への紛争波及、紛争の中で新たなアクターが出現する可能性など、今後の展望についての議論を行った。また、第2層を担った人々の現在の活動について、活動頓挫後はシリア国外での扇動、シリア国内で武装闘争、報道機関などへの情報提供などの活動をしているが、現在の彼らの活動は政治や社会の変革の原動力としての社会運動とはみなされない、との指摘があった。

(了)

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799